

様式第 1 号(第 6 条関係)

西予福子発第98号
令和 7 年 6 月 26 日

総務部総務課長
山崎 徳博 様

福祉事務所子育て支援課長 末盛 桂子

会 議 要 録

名 称	令和 7 年度第 1 回西予市子ども・子育て会議	
事 務 局	西予市福祉事務所 子育て支援課	
	電 話 0894-62-6551	
	F A X 0894-62-6564	
開 催 日 時	令和 7 年 6 月 18 日(水) 14 : 00～15 : 30	
開 催 場 所	西予市役所 5 階 大会議室	
出席者	委 員	P T A 代表 片岡正嘉 保育所保護者代表 (公立) 毛利武司 幼稚園保護者代表 (公立・私立) 三好真梨 児童館利用者 兵頭芽美 (宇和児童館) 小学校長代表 西川博幸 (野村小学校長) 保育所長代表 岡本八重 (俵津保育所長) 幼稚園長代表 小野 輝 (三瓶幼稚園長) 認定こども園長代表 山田里香 (うわまち未来こども園長) 児童福祉・事業主代表 柿内誠司 (西予総合福祉会) 児童福祉・事業主代表 織田はつみ (野城総合福祉協会) 児童福祉・事業主代表 藤原由美 (三瓶福祉会) 学識経験者 中野増美 (市代表主任児童委員) 学識経験者 黒田道代 (主任児童委員) 委員 13 名
	その他	
	事務局	福祉事務所長 長野静香 子育て支援課 末盛桂子 兵頭栄治 清水昭吾 村上真紀 紀熊太智 内波姫花 こども家庭支援室 梶田寿美子 矢野直子 岡中栄子 薬師神祥子 学校教育課 薬師寺ふみ まなび推進課 細谷涼子

		行政 13 名
		総計 26 名
議事内容(要旨)	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 福祉事務所長あいさつ 4. 委員及び事務局自己紹介 5. 議事 進行：会長 (1) 第2期西予市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について 会長：質疑を求める。 委員：この内容を委員が確認しましたとなったあと、こういったことはどの程度その市民の皆さんにどの程度公表されるのでしょうか。 事務局：会議の議事録はホームページでこういった会議があったということは報告している。ただし、資料など数字的なところまでは公表はしていない。今回、子ども・子育て支援事業計画を改定した際には、第2期の実績は掲載して公表している状況です。 委員：補助金が兼ねあっている事業があると思うが、先般のニュースで西予市財政が危ないということで、市民の皆さん不安に思っている部分もあると思う。ニュースリリースで今後行政サービスが低下するかもしれません、みたいなことがあったと記憶しております。私は子供の人権に関わる事柄はなんとしても守ってもらわないといけないという風に認識しております。そういう風に思ってくれてる市民の皆さんもいるのではないかと期待しております。だった時にこれが公表される時にその補助金の関わるものは、市から何%出て、県から何%出て、国から何%出るのかそういった基本的な情報も載せてもらえると市民の皆さんがこれは市が頑張っているところで、よく注視して今後の行政の動き、議会の動きを注視していかないといけないという風に意識付けできる可能性があると思った。県の事業で100%県ですとか、これは半々ですとか、そういったところを1行ずつぐらいこうつけてもらえると、今後市民の皆さんや私たちにとっても有益な事業になるんじゃないかという風に期待しました。	

	事務局：ここに掲げている大体のものは、国とか県とかの補助金が入っているものがほとんどだと思っております。子供の関係については、令和5年度から愛媛県の方で人口減少対策事業ということで、半分補助が出るなど、結婚とか出産に関する補助金も出ております。私たちは事業をする時に何か財源がないか国からの補助のメニューを探しながらしている。子供に関してはいろいろなメニューが出てて、ずっと続けてできる単発性で出るものについては、考えながらやっていかなければならないと思っている。我々も財源など考えながら行っているのもそういった目線で見てもらえることはありがたいと思っている。 委員：子育て応援券交付事業の停止はなぜ停止となったのか聞いてみたい。 事務局：子育て応援券交付事業は子育て用品に関する応援券を交付するものでした。それに変わるものでもないが、似たような事業で愛顔の子育て応援事業も紙おむつの購入に関する券の交付というところで、そういったこともしている関係で事業として整理したものと新たに残っているものとなります。出産に関してはオムツ代など別の事業で支援がされている現状であるためです。 委員：子育て応援券交付事業は市がやっているのか。 事務局：子育て応援券交付事業は市で、愛顔の子育て応援事業は愛媛県がしているもの。愛媛県下一律やっている事業だったと思う。事業としては補助をもらいながらやりたいところである。 委員：国、県、市などどこから補助が出ているのか興味があるので、次の会からその割合とか書いていただいたら、勉強になって意見も出やすくなると思う。 委員：この事業の中で市単独でやる事業などあるんですか。 事務局：不妊治療の保険適用分のみ市の財源で行っている事業となります。 委員：子育て支援センター事業の実績及び目標値がLINE登録者数になっているのがよくわからない。どちらかと言うとすくすくルームとコアラルームとうわっこなどの利用者の数だったら納得できると思いますが、LINE登録をしてとい
--	---

うのがどうか。登録だけして見れてない方がいるとも思ったので。

事務局：今のご意見を踏まえまして、第2期まではLINEの登録者数ということで目標値等としてもらっているが、第3期については、目標値と実績値を代えることができればいいと考える。第3期の報告の際に検討したいところ。今のうちに目標値を代える方向で考えていきたい。先ほどの補助率の関係で年度としてもう1回程度会議を考えているのでその際に補助率などを一覧でわかるように提示できたらと考えているのでその際にご意見ありましたらいただきましたと思います。

(2) 第2期西予市子ども・子育て支援事業計画の実績について

会長：質疑を求める。
※特に意見なし

(3) 第3期西予市子ども・子育て支援事業計画の概要について

会長：質疑を求める。

委員：初めての会議で多くの資料と数字の説明を受けてもわかりにくい。肝心なのはこの事業計画に大きく書いている「子育てするなら西予」と大きく書いてるが、市が単独で補助金出しているのが不妊治療しかないのによくこんなことが書けるなど、厳しい意見ですが、やるなら徹底的に、ほかの自治体などの事例を調べて案を出してもらって会員にどうですかというような会議にしないとこの会議は報告を聞く会となるので会議の意味がないと思う。もう少しこの会議の意義を考えていただけたらと思います。

事務局：国の補助などありますが100%でもなく、事業をやるかやらないかも市の方に委ねられてるものがあり、全国一斉ではない。各市町とも違う、西予市はこれをしているが他の町はやっていない。または、他の町ではやっているものもある。前の議題の時に関係です。市が負担するものを市では一般財源といいます、子ども医療については小学校までは県の補助金があるが、中学校や高校生の分は全て西予市の持ち出

しとなっているというのが抜けてたので報告します。今の状況の中で国とか県の支援を受けて事業を行うことはある程度必要なことだと思うが、特色の中でどのように事業をやっていくのか考えなければならない。前回の会議でもお金を出すだけがいいことではなく、人とのつながりを大切にしていかなければいけないともあった。今は本当にすごく子どもの事で補助金が出ている状況で、補助金を上手に使いながら事業を行いたいと思っています。

委員：今回策定した子ども・子育て支援事業計画というのは、子育てするなら西予とか西予で子育てする方たちが安心して子育てできるような計画を打ち出しのものだと思います。今、説明していただいた子育て支援事業は西予市内の民間団体は委託を受けて行っている事業も多々あると思います。今すごく西予市財政難で少子化だから利用人数が少なくなったからといって、突然補助金がカットされるのではないかと事業者のひとりとして不安な部分もあることが現状です。私どもも旧町ごとの地域で地域のニーズをくみ取りながら、子供が少なくなっても安心して子育てできるように、保育や教育の質の維持と向上を務めて参りたいと思う。そういった気持ちは皆さん固いと思いますので、少子化だから、財政難だからといって各事業をどうするかっていうのではなくて私どもを信頼して、各事業を充実させるためにも、今後もよろしくお願いできればと思っています。財政難で子育て支援課の方も地域のニーズもくみ取りながら事業をしていきたいという気持ちがすごく感じるんですが、予算があるということでもとても大変な仕事だと思います。ただこれからもよろしくお願いできればと思います。

委員：誰でも通園制度に関して、事前のアンケートは子育てするどの家庭でもアンケートをだされたのだったと思います。アンケートに答えて 50% 利用しないというのは、実際保育所などに通わせてるっていう方が誰でも通園制度に通わせないよっていう意見なのかなと思う。利用したいっていう 50% ぐらいの方がとっても利用したいという方もいると思うので来年度以降のニーズをよく聞いていただきたい。私も家で両親どち

らとも近くにいない状況で上の子供を 3 歳前まで見てたので、ニーズを聞いていただいたらと思います。

委員：この会議をできればここで完結させずに、もっと広く、この会議の内容を知られていくことが望まれると思っております。前から参加しているので、計画書を作ったうちのひとり、これに対する責任を負っているもののひとりだと思うんですが、先ほど委員が言われた、ただ承認するだけの会議にならないようにという思いで、毎回参加しております。ここだけの会議で終わらないようにする工夫、他の課の人たちに出てもらうように呼びかけるとか、市長、副市長、あるいは議員に傍聴等をしてもらうように働きかけるだとか、あるいは発言するのは自分たちでもこの会議をオープン化して誰でも見れるような工夫をアイデア勝負でこの会議を発展させていくことが、私としては望ましいと思う。条例等で決まってるかもしれないが検討してもらったらなというところです。

事務局：初めて計画書の資料を見て、また説明して目で追うだけで何だったんだと終わるだけではいけないと思う。周知の方法についてはもう少し考える必要があると思う。

委員：個人的な意見ですが、問題のないところは報告はいらないと思う。事前に資料を送付してもらって事前に目を通してもらってきてもらうなど。問題があるところに協議をしてもらうように考えてもらいたい。

事務局：次回の流れについては検討させてもらえるようにします。

(4) その他

・西予市子育て応援ブック 2025 年度版について

会長：質疑を求める。

委員：子育てするなら西予にするならここが 1 番多い方がいいなと思います。発刊した後ではありますが、実際、小児科がなく産婦人科もなく病院がどこだということで歯科検診や妊婦検診などで教えてもらっているが、病院の名前を市内だけでなく市外も書いてもらっているともっと利用してもらおうと思う。また次回何かあれば書き加えていただいたらと思います。

	事務局：2 年～3 年ごとで、地元の企業さんのご協力をいただきながら作成しているものでもあります。作成の準備始めた頃にはまだ小児科はありましたが、言われるとおり市外の大洲や宇和島などもいれることもできるのでないかと思います。 委員：この冊子は他にどこかでいただけるのか。 事務局：保育所あるいは児童館や支所、それから子育て支援拠点センターの方で配っています。市役所内部では子育て支援課の方にしか置いていない状況で検診等でも渡しています。問い合わせがあり、置いた方がいい箇所があればお渡ししたいと思います。 委員：先ほど児童館とかの利用者数などを数値で上げられてたと思うんですけど、子育てしてる中で、仲間を作るのに児童館とか支援センターとか利用させてもらってよかった。場所を載せるだけでなく児童館でこういうイベント定期的にしてるんだよとか詳しく拾い上げてもらいたい。 事務局：冊子についてある程度のそのページ数の制約の中でどの情報を全て入れるかっていうのはありますが、昔は紙で見るという時代が今はSNSで発信されてるということで、先日から宇和児童館のインスタグラムを始めた。始めるとフォローしたりもらったりで広がる。宇和児童館でも情報をどうやったら集客につなげることができるか来てもらえるかなど悩んでいる。冊子は2 年～3 年に1 回なのでLINEやインスタグラムで細かい周知をしていけたらと思います。冊子の構成についても考えて行けたらと思います。 4. 閉会
備 考	